

令和3(2021)年度 横須賀法律行政専門学校 自己評価報告

1. 教育理念(教育目標)

- (1) 高品質・高信頼なサービスを提供するため、行政・法律に関する知識・見識を構築する
- (2) 多様な課題を解決する施策・方策を起案するため、論理的な文章作成能力を養成する
- (3) 社会への奉仕者として慈愛の精神を培うため、豊かな人間性を涵養する

2. 教育目的

法律・行政並びにビジネスに関する専門知識及び理論を習得させ、職業若しくは實際生活に必要な能力の育成と教養の向上を図る

- 行政事務コース 国家公務員・地方公務員などを目指す
- 警察官・消防官コース 公安系公務員を目指す
- 基礎教養コース 社会人として必要な基礎力を身に付ける
- 総務・経理コース 民間事務職を目指す

3. 評価項目の達成および取り組み状況

(1) 教育理念、目的、人材育成像

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|-----------|--|-------------------------------|---|---|---|
| | | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教育理念・教育目的 | 教育理念(教育目標)・育成人材像は定められているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 教育目的は定められているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 学校における職業教育の特色は明確か | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

教員と学生募集スタッフが連携し、入学希望者の教育環境・家庭環境を鑑み、学生本人の希望および適性に合わせた人材育成を心掛けているが、将来構想については、定期的に見直し・確認の必要があると感じる。

教育理念および教育目的については、問合せ者や入学希望者には、必ず入学前に本人に来校を促し、説明・確認を行っている。入学後は、年度初めの導入期間にて徹底している。

②課題

昨年に引き続き、社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想については、次世代の人材育成という視点をさらに強化し検討する必要がある。

教育理念に掲げた人材育成ができてきているかの評価について、卒業後の実態調査を実施し、客観的に判断する必要がある。

③改善方策と今後の取り組み

卒業生に対し卒業後の状況をアンケート調査し、現状を把握したうえで、社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想について、人生100年時代に必要な社会人基礎力の育成を基本とした、「次世代の人材育成」という視点で見直し検討をはかる。

④特記事項

(2) 学校運営

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|-----------------|---------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 事務組織・ 意思決定機関 | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 事業計画に沿った運営方針が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 運営組織や意思決定機能は、効率的か | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 諸規定の制定 | 人事・給与に関する制度は整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 人事・給与に関する制度の定期的な見直しはされているか | 4 | 3 | ② | 1 |
| 学則・内規等の整備 | 学則等の定期的な見直しはされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 防犯対策 | 学生及び文書・備品等を守るための防犯対策は整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 教職員の防犯に対する認識は徹底されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 安全計画・消防計画は作成されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 個人情報の保護 | 個人情報保護法は遵守されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 情報システム化による業務の効率化が図られているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

昨年に続き、コロナ禍において、柔軟な対応を求められる部分もあったが、生徒・教職員一人一人の健康状態に留意し、短縮授業の導入や自宅学習など独自の学校運営に取り組むことができた。

昨年度の課題である諸規定の整備については、教職員が常に閲覧できるよう諸規定を共有サーバに保管したが、現状に合わせた見直し・整理が完了していない。

②課題

防災対策や個人情報の保護など、常に教職員一人一人に声をかければ対応可能な規模であり、大きな問題は発生していないが、組織的には、全教職員が全体像や、自らの役割を十分理解しているとは言えない。

諸規定の見直し・整備とともに、全教職員で、学校運営における問題点を洗い出し、対策を講じる必要がある。

③改善方策と今後の取り組み

学校運営の基本方針を全教職員で確認し、気になる点や問題点について洗い出しを行い、具体的な運営体制および運営方法を明文化する。

④特記事項

コロナ禍に対応した新たな生活様式に対する学校運営を振り返り、現行の学校運営の見直しをはかる。

(3) 教育活動

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|--------|---|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| カリキュラム | 教育目標・育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | カリキュラムは体系的に編成されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教科の指導 | シラバスの作成、学生への提示はされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 教育方法の工夫・研究の取り組みはされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 資格試験 | 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 不合格者への対応はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 成績評価 | 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 成績不良者への対応はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 教職員の組織 | 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 担当業務の内容と全体のバランスはとれているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 関連分野における知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取り組みが行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 職員に必要な知識等を修得するための研修等が行われているか | 4 | 3 | ② | 1 |

①現状

シラバスの作成や教育方法の工夫・研究については、個々の教員に一任し教職員間での共有が不十分である。限られた人員で教育活動を行っていることもあり、一人当たりの負担が大きい。担当科目について、全教員が集っての内部研修や勉強会などの時間が取れず、人材育成に適合した教育が体系的にできているかの検証は不十分である。

②課題

設置学科では、教育目的に沿った業種・職種を限定することが難しく、社会人に必要な一般教養の向上と、個々の希望進路に合せた必要なスキルの育成に力点を置いているが、関連分野における知識・技能を明確に定め、そのための教職員の外部研修を設定することが難しい。また、共通の科目を担当する教員が存在しないため、個々の教職員に一任している。

③改善方策と今後の取り組み

「人生 100 年時代に求められる社会人基礎力の向上」を人材育成の目標に掲げ、どのように取り組むか、教職員で意見を出し合い、体系的なカリキュラム構成を検討する。

そのうえで、必要な教職員の研修は、オンラインセミナーなどを活用し積極的に受講できるような制度や体制を整える。

④特記事項

コロナウイルス感染防止の観点で講じた新たな生活様式に対応した教育活動について、教職員で検証し、有効な活動については、次年度の教育活動に反映させていく。

(4) 教育成果

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|------------|-------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| 在学者・中退者の状況 | 就職率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 資格取得率の向上が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 退学率の低減が図られているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 理由別退学者の状況を把握しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

コロナ感染防止の観点から、資格検定試験の実施や就職活動については、従来の形式だけでなく、オンライン形式を導入するなど新たな対応が求められ、その対応に戸惑いつつも、学生それぞれの適性に合った成果を出すことができた。

②課題

1年次に公務員採用試験である程度の成果を出すことができた学生には、2年次に採用試験対策に専念できるようなカリキュラム編成が必要であり、現行のカリキュラム内容に重きを置くと、出席不良となり退学につながってしまう。

今年度は、オンラインによる就職活動、医療施設への早期就職(在学中は試用期間)や、卒業後の公務員採用試験対策の継続など、学生個々の就職活動に即した支援が求められた。今後同様の状況に対応できるような制度の整備が必要である。

また、積極的に各種活動に取り組めない学生には、より多くの活動機会を提供し、経験値を積み重ねる必要がある。

③改善方策と今後の取り組み

今後、卒業時に進路確定できない可能性を鑑み、コロナ禍前の就職活動とまったく同じ状況に戻るわけではなく、移動時間の短縮や、場所の確保の必要のない、オンライン説明会やオンライン面接などの採用試験の形態は引き続き行われる可能性がある。今年度対応した、採用試験や希望職種に必要なスキルを身につけるための学び方、就職活動への支援を参考に、多様な学生に対応できるカリキュラム編成を検討することで、退学率の低減をはかる。

⑤特記事項

(5) 学生支援

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|-----------|---------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 進路・就職対策 | 進路・就職相談を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 卒業後の進路調査の徹底はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 学生相談 | 学生相談に関する体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 相談者の守秘義務を徹底しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 経済支援・健康管理 | 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 奨学金制度は整備されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 奨学金貸与者の推移を把握しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 学生の定期健康診断を実施しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 学生の生活環境への支援は行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 保護者と適切に連携しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 卒業生への支援対策 | 卒業生への支援体制はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

例年同様、学生支援については、担当教員を設置するのではなく、クラス担任を中心に教職員全員で学生支援を行っている。

卒業後も公務員採用試験対策を支援したものの、採用につながらず、卒業後も継続的な学習や新たなスキルの習得を目指す者には、職業訓練を紹介することで、卒業後も引き続き、就職内定までの支援を行う。

また、持病があり、自らの健康状態と付き合いながら、働く方法を探すため、卒業後の進路として大学への編入学をした学生についても、引き続き支援を行っていく。

②課題

就職活動の多様化、個々の進路希望も多岐にわたり、一元的なカリキュラム編成では対応できない状況である。1年次は、ビジネスパーソンに求められる一般教養の向上を図り、2年次は採用試験に対応し、希望職種に求められる知識やスキルの習得を目指せるようなカリキュラム編成が必要である。

③改善方策と今後の取り組み

早急にかリキュラム編成の検討を行い2023年度生から対応できるように作業を進める。

引き続き学生支援については、学生一人一人個別に対応するとともに、卒業生への支援も強化する。

また、今後もコロナ禍における取り組みで得られた利点を活用しつつ、社会変化に柔軟に対応していくことが求められる。

④特記事項

(6) 教育環境

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|-----------|----------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| 施設・設備 | 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 教室・実習室の面積は適切か | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 自学・自習室はあるか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | バリアフリー化への着手・状況を把握しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 各室の安全性・衛生面は考慮されているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 卒業生への利用希望への対応はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 機材・備品 | 教育用機器備品の整備はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 視聴覚・情報機器の整備はされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 機材・備品の使用頻度を把握しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 課外授業・学校行事 | 学校行事等による学生間・学年間の連帯意識の育成はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 学校行事等による学生間・教職員間の連帯意識の育成はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 危険管理と危機管理 | 担任制による学生への対応の徹底と認識がされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 授業内に発生した事故への適切かつ迅速な対応がされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 防災の対応マニュアルの作成と適切な対応がされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 防災訓練等による学生への防災対策の周知はされているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 教職員への危険・危機管理を周知徹底しているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

施設・設備が老朽化してきているため、限られた資金・資源の中で、優先順位を確認し計画的に修繕を行っている。

課外授業・学校行事は、3密に配慮し企画・計画を立て実施することにより、学生間の連帯意識を持つことができた。

②課題

緊急事態宣言に伴い、その都度教職員間で意見交換し危機管理を講じてきたが、テレワークや時間短縮の推進により、次年度に向けて、全教職員で検証する時間をとることができていない。

③改善方策と今後の取り組み

今年度のオンライン授業や就職活動の状況を整理し、教職員で共有できる仕組みを確立する。今後もICTを活用しつつ、よりよい教育環境づくりを意識していく。

コロナウイルス感染防止対策を含めた学校安全管理マニュアルの見直しを行い、教職員に対し勉強会を実施し周知徹底をはかる。

④特記事項

(7) 学生募集

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|--------|-----------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| 学生募集広報 | 学生募集活動は適切に行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 学納金は妥当なものとなっているか | ④ | 3 | 2 | 1 |

①現状

高校訪問やオープンキャンパス開催など学校内イベントに制限がかかり、思うような学生募集活動ができなかった。また、新たな生活様式に対応する学内運営に時間をとられ、問合せ者に対する有効な情報発信が全くできなかった。

オンラインによるオープンキャンパスも実施したが、教育目的や学校案内を一方向的に説明する形式になってしまい、従来のキャリア相談とはならず十分に理解してもらえたか不安である。

②課題

募集・広報担当者が授業運営を掛け持ちしているため、余儀なくテレワークでの対応が発生した教員の代替に追われ、思うように広報活動ができていない。効率的な募集・広報活動を考えれば、専門・広報専任者を設定できるのが望ましい。

③改善方策と今後の取り組み

高校訪問や高校ガイダンス参加を中心とした募集活動を見直し、オンラインイベントの開催や動画配信など、積極的に ICT を活用した募集活動を検討する。

④特記事項

(8) 財務

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|------|--------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| 財務状況 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 | 3 | ② | 1 |
| 監査 | 財務について会計監査が適正に行われているか | ④ | 3 | 2 | 1 |
| | 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

学生数が少ないため、収支のバランスが悪い。

②課題

限られた予算で必要最小限の教育環境を維持できているが、より良い教育環境を提供するための経済的余裕がない。

③改善方策と今後の取り組み

スペースを有効利用することで得られた収益や設備投資を、教育環境の充実に充てられるよう、資格検定試験の会場や空き教室の貸し出しなどを積極的に行う。

④特記事項

(9) 法令遵守

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|------------|------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| 法令遵守の状況 | 法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 適切な学校評価の取組 | 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 自己評価結果を公開しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |

①現状

自己評価は行っているものの、現場の業務を優先してしまい思うように問題点の改善がなされていない。

②課題

全教職員で、自己評価の問題点の検証と改善策の検討を行う時間が確保できていない。

③改善方策と今後の取り組み

今回の自己点検の結果を踏まえて、「法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営」という観点で、全教職員で検証・検討会を実施し、総点検を行う。

④特記事項

(10) 社会貢献／国際交流

| 中項目 | 小項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|----------|----------------------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | | | | | |
| 社会貢献等の取組 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| 国際交流の状況 | 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか | 4 | 3 | 2 | ① |

①現状

高校生を対象とした夏休み実施している「仕事のまなび場」は中止となり、コロナ感染対策をしたうえで実施した高専連携講座も一部中止になってしまった。

例年実施している小中学生を対象とした「チャレンジスクール」は、コロナ感染対策を徹底したうえで予定通り開催することができ、多くの参加者にプログラミングを体験してもらうことができた。

②課題

③改善方策と今後の取り組み

従来の講座内容を見直し、オンラインによる講座の開催も検討していく。

④特記事項